

サンブルーノ市中学生友好訪問団に参加して

成田市国際交流協会理事 岡田博子

去る3月22日から28日まで、サンブルーノ市中学生友好訪問団に随行者として参加してまいりました。

カリフォルニアの明るい暖かい太陽と青い空をイメージして出発しましたが、冷たい気温と雨に迎えられ、そして又雨に送られて帰ってきました。しかし、中学生10名、随行者4名の総勢14名、誰ひとり病気もけがもせず、元気に帰国できたことは一番の喜びだと思っています。

サンフランシスコ空港でサンブルーノ市の皆さんの出迎えを受けた時は、お互いなんとなくごちない様子であった中学生は、日にちが経過し滞在5日目のパークサイド中学校訪問の頃には、すっかり溶け込んでいる様子が見られました。

中学生とは、市内にあるYouTube見学や、市内施設見学、歓迎パーティなどで一緒でしたが、YouTubeではちょっとシャイな面を見せていた彼らも、歓迎会や、パークサイド中学校でのイベントで練習を重ねていたダンスを披露した時は堂々としていて、地元の人たちから拍手喝さいを受けていました。



学校での交流風景

また、市内施設見学においては、図書館のバーバラさんに日本の民話の紙芝居を英語で読み聞かせていただいたり、成田から持参した国際子ども絵画交流展の絵画が既に展示されていたり、消防署では救助用具を実際に使用体験させてもらったり、警察署ではバイクに体験乗車させてもらうなど、どこに行っても、歓迎されている事を実感しました。さらにリコ市長自らが図書館や消防署に連れて行ってくださるなどそのフレンドリーさには恐縮いたしました。

一方随行者の私たちは、市の職員が同行してくれ、様々なところを見学させていただきました。シティーマネージャーの案内で行ったアルカトラズ島。サンフランシスコから1.5キロしか離れていないのに、潮の

流れで泳いで渡るには難しい囚人の島。アメリカの歴史を感じさせる建造物と共に当時の囚人たちの生活が偲ばれ、胸に迫るものがあり貴重な経験でした。

夕食時には市長をはじめサンブルーノ市の皆様と楽しく交流を深めることが出来たと思います。私自身も、かつて一緒に仕事をしたサンブルーノ市の職員やパークサイド中学校の教師や元市長などと再会し旧交を温めることができ、この事業の素晴らしさを再認識しました。

中学生たちのホームステイ先での活動は、様々であったと思いますが、別れの涙を見ていると、言葉は不十分でも心と心が通じ合うときがあったのではないかと思います。今回の経験が世界に踏み出すきっかけになってくれることを願っています。7月にはサンブルーノ市から訪問団が成田を訪れます。その時には楽しく充実した滞在になるように協力したいと思います。

最後にこの訪問に携わっていただいたすべての方々に感謝を申し上げ、報告といたします。



サンフランシスコ到着



パフォーマンス披露

サンブルーノ市を訪問して



渡邊 美羽

3月22日から28日まで、私は中学生友好訪問団の一員としてアメリカのサンブルーノ市を訪問しました。私はサンブルーノ市で、ホストファミリーや市の多くの方々から、様々な体験をさせていただきました。

サンフランシスコ空港に到着した22日、私たちは中学生やサンブルーノ市職員の方々から出迎えを受けた後、全員でサンフランシスコの観光へ向かいました。市内を一望できるツインピークス、ゴールデンゲートブリッジ、そしてフィッシャーマンズ・ワーフへ行き、その後ホテルへ向かいました。ツインピークスからの眺めはとてもきれいでした。2日目は、ホテルからバスでレクリエーションセンターへ移動し、ホストファミリーとの自己紹介などをして、それぞれのホームステイ先に行きました。私たちは海とショッピングモールに連れて行ってもらいました。3日目は科学館とフィッシャーマンズ・ワーフへ行きました。どちらも、とても楽しかったです。夜はホームステイ先で日本の文化を紹介するために色紙に漢字を書いたものと、持参した習字道具で名前の書き方を教えてあげました。習字はとても喜ばれました。4日目の25日は、市長表敬訪問後 YouTube、図書館、消防署、警察署を見学しました。



そして5日目は、朝から中学校でパフォーマンスを披露したり、授業を見学したり様々なことを体験させてもらいました。

私はこの研修を通して、たくさんのことを学ぶことができました。最初はとても緊張していましたが、1週間はあっという間で外国の方々との交流の難しさや楽しさを感じることができました。とても貴重な体験になりました。この経験を活かして、これから様々なことに挑戦していきたいです。

異文化に触れて

高橋 優輔

私は、このサンブルーノ市派遣事業を通して、たくさんことを学ぶことができました。1つは、今まで外国の人と関わりを持つことがあまりありませんでしたが、今回の派遣事業でホストファミリーや、パークサイド中学校の皆さん、消防署、警察署、市役所の皆さんと話したり、触れ合えたりすることができて、外国にさらに興味を持つことができました。そして、もっとコミュニケーションを取れるようになって会話をはずませられるようにしたいと思いました。

2つ目は、私は英語が好きだったけど、全く得意ではありませんでした。なので、ちゃんとホストファミリーと話せるかどうか不安や緊張もあったけど、初対面の時に質問をしたり、話しかけてくれて、わからなくてもゆっくり話してくれたので、不安や緊張もなくなりました。最初の2日間くらいは、ゆっくり話してもらわないと何を言っているのか良く聞きとれませんでした。3、4日経つと、普通のスピードでも言っていることがわかるようになってきて、とても嬉しく、もっと話したいと思いました。これからも英語を頑張ろうと思いました。

私がサンブルーノ市に行って驚いたことは、外国人が本当に日本のアニメや漫画に興味があるということです。私のホストファミリーは、自分でもオタクと言うくらい日本アニメが好きでした。しかも日本人が知らないようなマニアックなものも知っていました。さらに日本語もしゃべれて、いろんな言葉を知っていました。7月に日本に来たら、色々なアニメの話をもたしたいと思います。

このホームステイの思い出は一生の宝物になりました。ありがとうございました。





No.143

The Joys and Challenges of Raising a Filipino Family in Japan

今回は、フィリピン出身の市のALT、カレン・ロペスさんに日本での子育てについてご寄稿いただきました。



Karen Pamplona-Lopez

Sixteen years ago, a young bride so full of hope and excitement came to Japan to be with her groom. She ignored her fears of leaving her family and all things familiar and comfortable behind in her home country. She was eager to start a family in a land so foreign to her she is gripped with both excitement and fear.

I am that bride, although not so young anymore but still living with excitement in the land still so foreign to me that foreign became the familiar norm in my life. My name is Karen Pamplona-Lopez, a Filipina married to a Filipino and raising two boys here in the Land of the Rising Sun.

Needless to say, language is the biggest challenge for me. Perhaps one of my greatest blessings is having the opportunity to work as an ALT in one of the elementary schools in Narita. Knowing how the school system works makes me look and feel less ignorant at least in my eyes and in my children's eyes. Getting by for myself is one thing, but understanding so many things in my children's daily life is a whole different level. Luckily for me, my husband knows enough Japanese that he is in charge of all the documents at home.

Japan has one of the best public school systems in the world. In Narita, they even provide translator in school for foreign students and parents who cannot speak and read Japanese. There is a system in place that works and everyone is expected to do their share. We are expected to be involved for at least one year out of our children's entire years of stay in school. They are very considerate to people like me who have limited Japanese skills. But I still try my best to do the simple tasks given to me.

And then there's the extra-curricular activities! Sports is a big part of children's life here, be it in school or outside of school. My boys are very active in sports. Mothers are active participants too. There is a toban (mom-in-charge) assigned for the day who will watch the kids, prepare the drinks or just be present for anything that arises. We also have to drive the kids to a venue for competition from time to time. E-mails are constant and for this google translate is my best friend! Knowing limited Japanese is not an excuse to limit my family's activities. I learned not to be afraid to ask questions and to not mind that I sometimes look foolish for asking them. I learned to be resourceful. Most importantly, I learned that there is always someone willing to help. I just have to ask and show that I am willing to do my part. And in making the effort, I gained new friends and learned a lot.

Japanese culture is so different. A few times we find ourselves explaining to our kids why some of the things we do are different from what they see with their friends. It's hard when we tell them some things and they see another. We have to sit down, explain and teach them that one is not right over the other. It's just different and they have to respect the difference.





令和元(2019)年度 総会・講演会のお知らせ

令和元年度成田市国際交流協会総会を下記の通り開催します。総会では、平成 30 年度事業報告・決算、令和元年度事業計画(案)・予算(案)、役員の改選などについて審議されます。また、総会終了後に講演会を開催します。講演会の詳細については、別添のチラシをご覧ください。

日時：5月18日(土) 総会 13:00～ 講演会：14:30～(60分)

会場：中央公民館 講堂

※講演会は会員に限らずどなたでも参加できます。(入場無料)

世界の料理を楽しむ会 ～イラン編～

今回の世界の料理を楽しむ会では、イラン料理に挑戦します！講師には、イラン出身の鶴岡あきさんをお迎えします。皆さん奮ってご参加ください♪

日時：6月2日(日) 10:00～

会場：中央公民館 調理室

参加費：会員/700円 非会員/1,000円

定員：25名

申込み：成田市国際交流協会 Tel 23-3231

※お申込みは5月7日より受け付けいたします

英会話サロン 参加者募集

本年度第1回目の英会話サロンを開催します。今回は、市内のALTとしてご活躍中のショーン・ハチヤさん他2名をゲスト講師としてお迎えします。

日曜午後のひと時、美味しい飲み物やお菓子と共に英会話でお楽しみください。

日時：6月9日(日) 13:00～

会場：ぱん茶屋2F(上町551)

参加費：500円

定員：15名(会員限定)

申込み：成田市国際交流協会 Tel 23-3231

※お申込みは5月7日より受け付けいたします

異動のお知らせ 成田市の人事異動で、文化国際課に新しく谷崎さん、池ノ谷さんが着任されました

国際交流カレンダー(5月)

7日(火) 広報部会・編集会議(市役所/16:30)*
18日(土) 総会(中央公民館 講堂/13:00～)
講演会(中央公民館 講堂/14:30～)*
21日(火) 広報部会・最終校正(市役所/16:30)*
*印のついているものはどなたでも参加できます

編集後記

はじめまして。4月より国際交流係の担当になりました、池ノ谷と申します。

主にニューズレターの作成に携わり、国際交流に関する情報を皆様にお届けしていきます。会員の皆様と一緒に成田市の国際交流事業を盛り上げていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。(NI)

ニューズレター(毎月1日発行)

[編集・発行]成田市国際交流協会広報部会(〒286-8585 成田市花崎町760 成田市役所文化国際課内)

Tel:0476-23-3231/Fax:0476-22-4494/E-mail: nifs@ngy.3web.ne.jp

再生紙を使用しています

成田 国際交流

検索



NIFS